



第24回 日本救急医学会九州地方会 未来の九州におけるSafety Net ～救急医療・災害医療・終末期医療を考える～

プログラム・抄録集

日程

LIVE配信

2020年12月20^(日)

オンデマンド配信

2020年12月23^(水) 正午～2021年1月12^(火) 正午

会長

高山 隼人

長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長
ながさき地域医療人材支援センター センター長



The 24th Japanese Association for Acute Medicine Kyushu District Meeting

第24回日本救急医学会 九州地方会

テーマ

未来の九州におけるSafety Net ～救急医療・災害医療・終末期医療を考える～

LIVE 配信

2020年**12月20**日(日)

オンデマンド配信

2020年**12月23**日(水)正午～2021年**1月12**日(火)正午

会 長 高山 隼人

長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長

ながさき地域医療人材支援センター センター長

大会事務局

第24回日本救急医学会九州地方会事務局

長崎大学病院地域医療支援センター内

〒852-8501 長崎市坂本 1-7-1

TEL : 095-819-7346 FAX : 095-819-7379

E-mail : 24_jaam_kyushu@ml.nagasaki-u.ac.jp

大会ホームページ

<https://jaamk24.jp/>

会 長 挨拶

第 24 回日本救急医学会九州地方会
会 長 高山 隼人
(長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長)
(ながさき地域医療人材支援センター センター長)



九州地方会会員みなさま、第 24 回日本救急医学会九州地方会を会長として担当します高山隼人です。

今回の学術集会は、「未来の九州における Safety Net ～救急医療・災害医療・終末期医療を考える～」をテーマに準備を進めてきました。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の国内拡大により、6 月の会期を 12 月に変更しましたが、感染状況の終息には至らないため、Web 開催となりました。

救急医療を取り巻く環境の中で、高齢者の対応など憂慮すべき状況が数多く発生しています。国も人生の最終段階における治療やケアを本人・家族が話しあうことを、「人生会議（Advance Care Planning : ACP）」として推奨しています。九州内での取り組みを共有できればと考えています。また、第 22 回地方会より継続的に討論されているマスギャザリングへの対応がどこまで進んできたのか、「救急科専門医」が救命センターや ER のみでなく、様々な場面で活躍できることを若手の救急医にお伝えできればと思っています。

本来ならば、2020 年は東京オリンピック・パラリンピックと同年に開催する記念すべき年でしたが、九州各地で Safety Net の役割を担う救急関係の皆様が参加しやすいオンラインでの開催となりました。皆様と長崎の地でお会いできないのは残念ですが、Web 上でお会いできますことを楽しみにしています。

第 24 回日本救急医学会九州地方会 大会組織・プログラム委員

会 長

高山 隼人（長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長
ながさき地域医療人材支援センター センター長）

副会長

田崎 修（長崎大学病院高度救命救急センター 教授）
中道 親昭（長崎医療センター行動救命救急センター センター長）

事務局長

山下 和範（長崎大学病院高度救命救急センター 准教授）

事務員

小川 久美（長崎大学病院地域医療支援センター）

プログラム委員

高山 隼人（長崎大学病院地域医療支援センター 副センター長
ながさき地域医療人材支援センター センター長）
田崎 修（長崎大学病院高度救命救急センター 教授）
中道 親昭（長崎医療センター行動救命救急センター センター長）
山下 和範（長崎大学病院高度救命救急センター 准教授）
山田 成美（長崎医療センター高度救命救急センター 副センター長）
田平 直美（長崎大学病院高度救命救急センター 看護師長）
大山加奈子（長崎医療センター高度救命救急センター 看護師長）
與賀田 洋（長崎県救急看護認定看護師会 代表・愛野記念病院）
谷口 拓司（長崎県救急看護認定看護師会・佐世保中央病院）
安藝 敬生（救急認定薬剤師 長崎大学病院）
林田 哲（長崎市消防局警防課）

第 24 回日本救急医学会九州地方会

プログラム

〈LIVE 配信 (Zoom) ・ オンデマンド配信〉

特別講演・教育講演・シンポジウム・パネルディスカッション・
ランチョンセミナー

LIVE 配信期間：2020 年 12 月 20 日 (日)

オンデマンド配信期間：2020 年 12 月 23 日 (水) 正午
～ 2021 年 1 月 12 日 (火) 正午

※オンデマンド配信は承諾を得られたものに限りです。

〈スライド閲覧 (音声有)〉

一般演題

閲覧期間：2020 年 12 月 20 日 (日) ～ 2021 年 1 月 12 日 (火) 正午

12月20日(日)

LIVE配信プログラム

9:10～10:20 パネルディスカッション1 マスギャザリングへの取り組み

座長：山下 和範（長崎大学病院 高度救命救急センター）

PD1-1 マスギャザリングの救急医療体制 - ラグビーワールドカップ 2019 における大分県の取り組み -

石井 圭亮（大分大学医学部附属病院、
ラグビーワールドカップ 2019 救急医療・危機管理専門委員会 委員）

PD1-2 ラグビーワールドカップ 2019 警備結果について

堤 裕之（大分市消防局 警防課 救急救助担当班）

PD1-3 ラグビーワールドカップ 2019 熊本開催に向けた熊本版多機関連携センター (KuMAC) 設置の挑戦から見てきたこと

前原 潤一（済生会熊本病院 救急総合診療センター 救急科）

PD1-4 ローマ教皇長崎訪問に関わる災害発生時のドクターヘリ運用体制の構築と課題

中道 親昭（国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター）

PD1-5 地方における大規模自転車ロードレース大会における救急医療体制

米盛 輝武（社会医療法人仁愛会 浦添総合病院 救命救急センター）

PD1-6 災害医療分野からの技術応用によるマスギャザリングイベントでの診療情報管理

久保 達彦（広島大学医学部公衆衛生学）

10:35～11:20 教育講演

（協賛：長崎大学病院ながさき地域医療人材支援センター）

座長：長谷 敦子（長崎大学病院 医療教育開発センター 長崎外来医療教育室）

人生の最終段階における医療の意思決定プロセス —救急医療現場で発生する倫理ジレンマを中心に—

尾藤 誠司（東京医療センター 臨床研修科）

11:35～12:25 ランチョンセミナー1

空(ヘリコプター、ドローン、空飛ぶ自動車)を活用した医療活動の未来

（共催：学校法人ヒラタ学園）

座長：中道 親昭（国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター長）

LS1-1 長崎県における医療搬送ヘリの実情及びドローン実証実験の計画

小笠原 健太（学校法人ヒラタ学園航空事業本部 営業課）

LS1-2 ドローン活用事例の紹介と将来の可能性

谷 紳一（株式会社エアロジーラボ 代表取締役）

LS1-3 空飛ぶ自動車を活用した医療搬送の未来

小原 豪（エアバス・ジャパン株式会社 ストラテジー&マーケティングマネージャ）

12:40～13:30 ランチョンセミナー2

（共催：旭化成ゾールメディカル株式会社）

座長：畑中 哲生（救命救急九州研修所（ELSTA KYUSHU） 教授）

LS2 ハイパフォーマンス CPR の実現に向けて

石見 拓（京都大学 環境安全保健機構附属 健康科学センター 教授）

13:45～14:35 特別講演

座長：高山 隼人（長崎大学病院 地域医療支援センター
ながさき地域医療人材支援センター）

救急医療における終末期患者への対応：脳死という概念を通して

荒木 尚（埼玉医科大学総合医療センター）

14:50～16:30 シンポジウム

Safety Net 救急医療と終末期医療をどう考えるか

座長：中道 親昭（国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター）

SY-1 長崎市医師会版「わたしの思い」の作成と運用

土屋 知洋（長崎市医師会・ちひろ内科クリニック）

SY-2 超高齢社会を見据えた地域医療連携

松園 幸雅（荒尾市民病院 救急科）

SY-3 うすき石仏ねっと - 救急医療・災害医療・終末医療への活用 -

舩友 一洋（臼杵市医師会立コスモス病院）

SY-4 高齢者の救急医療と終末期医療の変化

糸瀬 磨（長崎県対馬病院 外科）

SY-5 取り下げ

SY-6 高齢者多施設共同研究（LIFE study）に関連した、高齢者救急・集中治療の導入判断および治療強度決定方法に関する検討

権 志成（国立病院機構長崎医療センター 高度救命救急センター）

SY- コメンテーター

荒木 尚（埼玉医科大学総合医療センター）

16:45～17:55 パネルディスカッション2

救急科専門医の有効活用

座長：田崎 修（長崎大学病院 高度救命救急センター）

PD2-1 当院脳卒中ホットライン（NMC-SHOT：Nagasaki Medical Center-Stroke Hotline）における救急医の役割について

日宇 宏之（独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター高度救命救急センター）

PD2-2 救急科専門医として総合病院に新たに赴任した際の経験

早川 航一（長崎大学病院 高度救命救急センター 救急・国際医療支援室、
長崎みなとメディカルセンター 救命救急センター）

PD2-3 取り下げ

PD2-4 救急科専門医の有効活用ー消防機関との関わりー

高松 学文（救急救命九州研修所）

PD2-5 救急専門医による在宅診療

岸川 政信（福西会病院 在宅診療科）

PD2-6 救急科専門医は医療過疎地でこそ有効活用される

松岡 良典（松岡救急クリニック）

12月20日(日)

スライド閲覧プログラム

一般演題 CPA・CPR

- 0-01** 造影剤注射後にアナフィラキシーショックを発症し CPA となった一例
空閑 正樹（独立行政法人地域医療機能推進機構九州病院）

市民へのBLS普及、AED・PAD

- 0-02** 長崎市消防局管内におけるバイスタンダーによる心肺蘇生と1ヵ月生存率の現状について
島本 悠矢（長崎市中央消防署）

多臓器不全、集中治療

- 0-03** 血栓性微小血管障害症の合併が疑われた *Streptococcus pyogenes* による壊死性筋膜炎の1例
安部 智大（宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター）

外傷、多発外傷

- 0-04** 腹腔鏡手術が有効であった外傷性腹腔内出血の一例
有次 葵（新行橋病院）
- 0-05** 多発外傷による入院中に膀胱損傷が明らかになった一例
内海 李香（長崎大学病院 医療教育開発センター）
- 0-06** 交通外傷で搬送され24時間以内に死亡した症例検討
小峯 進之介（巨樹の会 新武雄病院総合診療科）
- 0-07** 鈍的胸部外傷後に遅発性気胸を呈した1例
梅津 成貴（大分大学 医学部 附属病院 高度救命救急センター）
- 0-08** 保存的治療にて経過良好であった外傷性腕頭動脈瘤の1例
相馬 颯介（大分大学 医学部 附属病院 高度救命救急センター）
- 0-09** 外傷性腹壁ヘルニア嵌頓の1例
姫野 智也（大分大学 医学部 附属病院 高度救命救急センター）

熱傷、化学損傷、電撃傷

- 0-10** 高電圧による電撃傷の1例
織方 良介（公益社団法人昭和会 今給黎総合病院 救急科）

急性中毒

- O-11** カフェイン多量摂取により周期性四肢麻痺をきたした低カリウム血症の一例
馬場 大地（新行橋病院）

環境障害(熱中症、低体温症、高山病、減圧症)

- O-12** 経過中に脳梗塞が明らかになった熱中症の一例
芥川 晃也（国立病院機構 熊本医療センター）
- O-13** 減圧症発生時での高気圧酸素治療について
堂籠 博（米盛病院 救急科）

異物、溺水、刺咬傷、その他の外因性の病態

- O-14** マムシ咬傷の一例
繁永 いづみ（北九州市立八幡病院 救急科）
- O-15** 著明な血小板減少を来したマムシ咬傷に抗毒素血清が有効だった一例
伊豆元 心太郎（宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター）
- O-16** 蜂窩織炎と誤診し進行性貧血、皮下出血を呈した続発性血友病 A の症例
松本 潤（巨樹の会新武雄病院総合診療科）
- O-17** 温泉溺水により高カルシウム血症を呈した一例
俵口 結衣（長崎大学病院 高度救命救急センター）

脳神経系の疾患・病態

- O-18** 高血糖高浸透圧症候群の治療経過中に extrapontine myelinolysis を合併した 1 例
川野 雄一郎（済生会熊本病院 救急総合診療センター）

心血管系の疾患・病態

- O-19** 当院の脳神経外科入院患者における冠動脈 CT 陽性患者の検討
高田 雄介（新行橋病院）
- O-20** 腹部内臓動脈瘤破裂に伴う非外傷性腹腔内出血に対して REBOA を行い救命し得た 1 例
山田 健人（福岡大学病院 卒後臨床研修センター）

呼吸器系の疾患・病態

- O-21** 急性肺塞栓症に対するカテーテル吸引破砕術の経験
日高 啓介（巨樹の会 新武雄病院総合診療科）

消化器系の疾患・病態

- O-22** 鼠径ヘルニア嵌頓から腹部コンパートメント症候群（ACS）を来し治療に難渋した一例
梶山 翼（久留米大学 医学部 救急医学講座）
- O-23** 治療量で発症したアセトアミノフェンによる急性肝不全の一例
福田 理史（久留米大学病院高度救命救急センター）

感染症

- O-24** フルニエ壊疽の 1 例
小野 弘一朗（新行橋病院）
- O-25** 当院での緑膿菌性菌血症症例の検討
田畑 輝海（荒尾市民病院救急科）
- O-26** 過剰な輸液負荷に伴う分布容積増大によりバンコマイシンの血中濃度管理が難渋した一例
古賀 香織（長崎大学病院 薬剤部）
- O-27** 気腫性膀胱炎の治療経験
後藤 卓（巨樹の会新武雄病院総合診療科）
- O-28** 敗血症性肺塞栓症の経験
重川 公哉（巨樹の会新武雄病院総合診療科）
- O-29** 両肺に多発する嚢胞性病変から後天性免疫不全症候群（AIDS）と診断された 1 例
松尾 悠史（国立病院機構 熊本医療センター 救命救急・集中治療部）

災害医療・災害看護

- O-30** 熊本地震の経験を災害医療教育に活かす
笠岡 俊志（熊本大学病院 災害医療教育研究センター）
- O-31** 佐賀県西松浦郡有田町における防災訓練報告～ARITA 自助・公助・共助連携活動モデル～
大曲 史悦（伊万里・有田地区医療福祉組合 伊万里有田共立病院）
- O-32** 災害医療における歯科の役割と多職種連携教育の重要性
内藤 久貴（熊本大学病院 災害医療教育研究センター）
- O-33** 令和元年 8 月佐賀豪雨における当院の対応
小野原 貴之（国立病院機構 嬉野医療センター 救急科）
- O-34** 当院における災害診療記録運用上の課題
佐藤 満仁（鹿児島市立病院 救命救急センター）
- O-35** 九州ブロック災害医療研修会にて桜島大噴火災害を取りあげる意義
吉原 秀明（鹿児島市立病院 救命救急センター）

- O-36** 2019年8月大雨特別警報を経験して
木谷 貴嘉（長崎大学病院 災害医療支援室）
- O-37** e-ラーニングを取り入れたトリアージ研修の効果と今後の課題
田中 由香（長崎大学病院 集中治療部）
- O-38** 取り下げ

プレホスピタルケア（ドクターカー、ヘリ等）

- O-39** 大分県における防災航空隊の救急活動プロトコルの策定
玉井 文洋（大分県メディカルコントロール協議会 プロトコル検討作業部会）

地域救急医療体制・メディカルコントロール

- O-40** 対馬（しま）における循環器系疾患の救急医療
～12誘導心電図伝送システム導入の効果～
永留 和秀（対馬市消防本部）
- O-41** 取り下げ
- O-42** 沖縄県竹富町西表島における救急搬送業務民間委託について
長谷川 瑛一（日本救急システム株式会社）
- O-43** 地域メディカルコントロール協議会が策定した感染防止対策マニュアルについて
東 竜二（県央・県南地域メディカルコントロール協議会）
- O-44** 沖縄県内離島での多数傷病者事案に対する体制整備についての一考察
佐々木 秀章（沖縄赤十字病院 救急科）
- O-45** JPTEC ファーストレスポnder 198人の養成の経験から
金丸 勝弘（宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター）

消防関係（救急隊・救急救命士・救助隊・通信指令）

- O-46** 静脈路確保の実施率・成功率の大幅な上昇について
竹下 紘樹（大分市消防局 東消防署）
- O-47** 宮崎県美郷町における転院搬送救急隊の運用開始とその効果
後藤 奏（日本救急システム株式会社）
- O-48** 医師等同乗救急自動車（EMTAC）の運用について
川合 雅也（県央地域広域市町村圏組合消防本部 諫早消防署）

シミュレーション研修

- O-49** 当院の急変対応 Basic/Advance コースの改定による学習効果の検討
本田 智治（長崎大学病院 高度救命救急センター 看護師）

教育(研修医、看護師、コメディカル)

- O-50** 急性期脳卒中病棟における災害の対応力・知識向上にむけた取り組み
～実地訓練・机上訓練を通しての効果～
小森田 有美 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院)
- O-51** 看護師を対象にしたフィジカルアセスメントセミナーの学習効果の検討
持永 弓恵 (国保水俣市立総合医療センター)
- O-52** 救急医学の要素を取り入れた初期臨床研修医勉強会の現状と問題点
藤田 尚宏 (佐賀県医療センター好生館 総合教育研修センター)
- O-53** 3 部署の看護体制における教育の現状と課題
吉岡 佳世 (長崎大学病院 高度救命救急センター)
- O-54** 急変対応 Expert コースの実際と今後の展望
宮田 佳之 (長崎大学病院 高度救命救急センター)
- O-55** A 病院採血室に従事する看護師・臨床検査技師の急変時役割意識の統一を図る
又吉 努 (琉球大学病院)

医療安全・院内急変対応

- O-56** 転帰から見る Rapid-Response-System の課題
井浦 弥生 (社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 救命救急 HCU)

ICT・AIの活用

- O-57** 救急事案における「うすき石仏ねっと (地域医療・介護情報連携システム)」の
効果について
深田 泰志 (臼杵市消防本部)

終末期・倫理(ケアを含む)

- O-58** ER における CPA 症例の倫理的問題に対する M & M カンファレンスの効果
岡野 雄一 (熊本赤十字病院 救急科)

チーム医療

- O-59** 二次救急医療施設における後期高齢者への帰宅支援
～帰宅支援フローチャートを使用した効果の検証～
馬場 虹歩 (独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院 看護部 特殊外来 救急センター)
- O-60** 呼吸困難を主訴に来院した患者への対応酸素デバイスに抵抗がある患者への看護介入を通して
谷口 拓司 (社会医療法人財団白十字会佐世保中央病院 外来 / 救急外来看護課)
- O-61** 救急初療における特定行為研修修了看護師へのタスクシフティング
増山 純二 (学校法人 巨樹の会 大学設置準備室)

その他

O-62 長崎大学病院における人プロトロンビン複合体の使用状況調査と薬学的アプローチの検討

川渕 有佳（長崎大学病院 薬剤部）

O-63 当院救命救急センター画像読影所見における見逃し症例の対策について

後庵 篤（県立延岡病院 救命救急科）

教育(学生)

O-64 日本救急医学会学生・研修医部会（SMAQ）の概要および九州・沖縄ブロックにおける具体的活動

柏木 杏奈（長崎大学 医学部 医学科、日本救急医学会 学生・研修医部会（SMAQ））



働くなら、 長崎が熱い！

長崎だからできる働き方



医師募集！



ながさき地域医療人材支援センター

事務局 長崎大学病院 地域医療支援センター

〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
TEL:095-819-7346 FAX:095-819-7379
☎:http://ncmsc.jp/ ☎:info@ncmsc.jp